

### 三輪野江地区の今後の 在り方について

中嶋 通治



**問** 都市整備について庁内連携会議は何回開催したのか、進行状況は。また、近隣市との協議状況、地元住民との協議、地区の人口動静は。

**答** 元年6月に6室課で8回開催。三郷市とは情報を共有している。地元住民との懇談はコロナの為に外向くことが困難。人口は285人減少。リーダーシップを取り、丁寧にビジョンを示し、必ずやるという意識が必要である。

**問** 開発手法は色々あるが如何か。

**答** 今まで区画整理の話があったが反対があり中止。地域の皆さん、地権者の方にしっかりした意思表示が必要。国は農地保全の意向が強い。難しいがしっかりと進めて行く。

#### ◆テクノポリスの開発状況について

**問** 市の対応、県、企業局との協議は。

**答** 東埼玉道路、浦和野田線に隣接する当地区は土地利用の可能性として資質がかなり高い。農林協議にあたり指摘を受けている三輪野江地域の農用地から除外されている白地地区の整理について埼玉県と6回協議、企業局は農林協議の進捗に合わせ対応する。

### 次代に繋ぐ「農業創生」実現に向け 「人・農地プラン」の促進を

五十嵐 恵千子



**問** ①昨年、千葉大園芸学部へ委託し回答を得た提言書の内容は。②第6次吉川市総合振興計画へ新たな農業振興を位置付けることへの見解と吉川市「人・農地プラン」実質化への進捗状況・推進体制の強化について伺う。

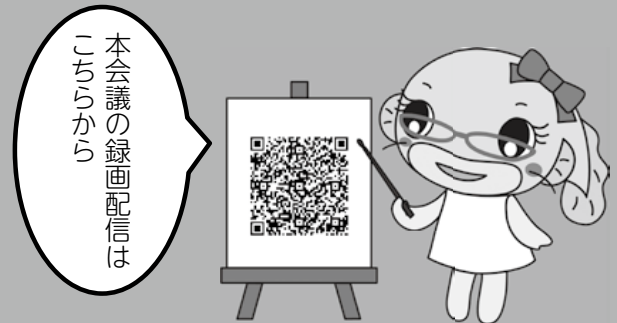
**答** ①「市の地理的有利性を活かした集約的園芸産業への転換」「果樹農業等の可能性」「稲作の自動化・効率化・大規模化の推進」「農福連携の可能性」などの提言であった。②「人・農地プラン」の更新作業で出された意見等を踏まえ、計画に位置付けたい。また、実質化が進まないのは、地域に根差していないからと感じ、現状を改善すべく、学校給食に用いるなど販路拡大に力を入れてきた。また、産業振興条例に理念を打ち立て、計画推進のために集会・会議等で意見を吸い上げ課題を共有している。今後、計画を促進するためには、地域の農業従事者や地権者だけでなく、様々な形でチャレンジ出来る可能性のある方達も含めて検討すべきと、一歩進める動きが始まった。また、市民参加推進課の職員等を始め、多くの職員ネットワークも使った職員体制と理解してほしい。

# 答えて市長！ 一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



### 学校教育に関する事業

林 美希



**問** 会派を代表して質問する。当会派が要望した旭・三輪野江小スクールバス運行実施を経て、今後の児童の安全確保策は。

**答** 実際の費用や運行上の課題を見ることができた。対策は持続可能でなければ意味がなく、防犯面、子どもの体力面、様々両立させていくため、どこまで対策を図っていくかは大変悩ましい課題。市も学校も子ども達の安全を第一に考えている。今回得た成果や課題を踏まえ、保護者や地域と共に検証していくことが重要。

**問** 児童生徒一人にタブレット端末一台実現。ICT環境の整備は目的や理念を達成するための手段と考えるが、市の考えは。

**答** 教育の効果をより深め、高めるために、各教科の特質を生かしながらICT機器を活用する。主体的に学ぶ力ややり抜く力、協調性などの習得、学力・体力・非認知能力の向上につなげていく。